

## 令和2年 年頭の挨拶

### 年頭挨拶

#### 会員各社の「変化・進化」に貢献する課題に取り組み

全日本一般缶工業団体連合会 会長  
西日本一般缶工業協同組合 理事長

清水雄一郎



あけましておめでとうございます。

一般缶業界並びに関係各社の皆様には、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から連合会に対し格別なるご支援とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、いよいよオリンピックイヤーでもある2020年が始まりました。国際的なスポーツイベントが自国で開催されるということで、大会を盛り上げよう、楽しもう、という機運も高まり、例年以上に明るい新年の幕開けであったように感じます。

一般缶業界でもオリンピック特需を期待したいところですが、伝え聞く情報では今のところオリンピック用の特別な商品の開発の話はあまり聞こえてこないの、外国人観光客増加を見込んだインバウンド向けにとどまっているようです。市場の環境が厳しい中、できるだけリスクを負わず収益を上げていこうという流れは今後も続きそ

うです。

消費増税の反動で市場は冷え込んでいますが、オリンピック・パラリンピック開催に向かって徐々に活気を取り戻してくることを祈りたいと思います。

そんな比較的明るい話題もある年ですが、一般缶業界を取り巻く環境は未だ厳しい状況です。原材料、印刷代、その他副資材の価格高騰、働き方改革関連法による時間外労働の上限規制や人材不足の問題、少先の話ではありますが、国民の3人に1人が65歳以上になると言われる「2025年問題」など、企業存続のために越えなければいけない課題が山積みです。

経営環境が目まぐるしく変化する中、ふと思うのは環境の変化に合わせて自分たちも変化できているかということです。変化に適応するためには、やはり自分たちも変化・進化し、課題を克服していかなければなりません。目の前に迫る課題としっかりと向き合い、恐れず勇気を持って今できることを全力でやり切り、一つまた一つと自社の変化を繰り返し進化できる年にしたいものです。各社の変化・進化が業界の変化・進化につながること強く意識しつつ、今年も連合会として各社の変化・進化に貢献できる取り組みを続けていきたいと考えております。

結びに、連合会に関わる会員並びに関係各社の皆様のより一層のご活躍とご隆盛を心から祈念いたしました年頭のご挨拶とさせていただきます。

### 年頭所感

#### 働き方改革に伴うしわ寄せ防止など取引適正化を浸透させる

経済産業省製造産業局  
金属課長

蓮井 智哉



令和2年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。また、昨年は経済産業行政に対する深いご理解と格別のご支援を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

まず、台風15号、19号など、昨年発生した自然災害において被災された全ての皆様へ、心よりお見舞いを申し上げます。また、産業界の皆様には、被災地支援に様々な御協力をいただき、改めて感謝申し上げます。

我が国にとって、金属産業は自動車から携帯電話まで、幅広い産業を支えるものづくりの屋台骨です。しかし、足元では、海外の経済減速による影響等により、厳しい向かい風を受けています。中長期的にも、国内需要の頭打ち、ユーザーニーズの高度化と多様化、新興国の技術力の向上等、数多くの挑戦が待ち受けています。

こうした状況の中で、グローバル経済の変化への対応が求められています。昨年は、

米中対立が顕在化し、保護主義的な動きが広がるなど、通商を巡る国際的な動向について先行きが非常に不透明な年でした。

これまで、日本は、いわゆるTPP11や日EU・EPAを通じて、質の高い通商ルールを構築してきました。本年は日米貿易協定と日米デジタル貿易協定が発効します。これからも自由貿易の旗手として、自由で公正なルールに基づく国際経済体制を主導する役割を果たしていきたいと考えております。

特に鉄鋼業界においては、世界の過剰生産能力が依然として大きな課題です。昨年の鉄鋼グローバル・フォーラム閣僚会合の結果を受け、経済産業省としては、多国間での取組をしっかりと継続させるとともに、並行して二国間の鉄鋼対話を通じた対応も強化していきます。

また、米国の232条に基づく鉄鋼及びアルミニウムに対する追加関税や、数量制限、輸出規制等は日本として受け入れられない旨を繰り返し伝えてきました。日米共同声明においても「他の関税問題の早期解決に努める」ことを確認しており、引き続き問題解決にむけて積極的に取り組んでいきます。

デジタル経済の急激な進展への対応も欠かせません。例えば、自動車産業では、「CASE」と呼ばれる変革期を迎えていると言われております。付加価値を巡って様々なプレイヤーの競争が激化し、サプライヤーに求められる付加価値が大きく変わる可能性もあります。しかし、これをリスクとして逡巡することなく、大きなビジネスチャンスと捉え、先手を打って行く必要があります。

金属業界の側においても、AIやIoT

といった技術の活用、たとえば開発段階におけるマテリアルズ・インフォマティクスや、生産現場における工場全体の最適制御、更には、設計、開発、生産の各段階を通じた最適化が必要になると考えています。

今年、5Gの導入も本格化していくなど、デジタル化の動きが一層加速していくことは間違いありません。経済産業省としても、産業界の皆様の取組を全力で後押ししてまいります。

エネルギー・環境問題も、常に大きな課題です。資源に乏しい日本は、エネルギー制約を抱えながらも、安定供給と、パリ協定を踏まえた脱炭素化の取組を進めていきます。

脱炭素化の鍵を握るのが、イノベーション、特に水素技術や、CO2を資源として利用し尽くすカーボン・リサイクル等の革新的技術の開発・普及です。令和元年度補正予算案には、水素還元製鉄など、「ゼロカーボン・スチール」に向けた研究を盛り込みました。引き続き官民一体で、2030年、さらには2050年以降を見据えた対応を進めていきます。

サプライチェーン全体での競争力を図る上では、取引適正化が求められています。経済産業省としては、昨年来、働き方改革に伴うしわ寄せ防止などに向けた取組を精力的に進めてきました。金属業界の中でも、一部の業界団体において、「金属産業取引適正化ガイドライン」に基づく自主行動計画の策定を進めていただいております。本年も、取引適正化のさらなる浸透に向け、一層議論を深めていきたいと考えています。

全ての事業活動の基礎には、「安全」があります。金属業界からは、多くの団体に「製造業安全対策官民協議会」に参画いただき、

製造業全体の安全確保に向けてリーダーシップを発揮していただいています。しかし、それでもなお、昨年も数多くの痛ましい事故がありました。重大事故ゼロに向け、今年も安全対策を一層進めていただくよう、お願いいたします。

生かして世の中に貢献していくことを、お互いにめざしていきましょう。

東日本一般缶工業協同組合としましても、そうした私たちが切磋琢磨するにふさわしい組織でありたいと願っております。

協同組合の存在意義は「相互扶助」。昨年度はその原点に立ち返りまして、「ここに参画している皆さんが発展繁栄していく」ことを最優先課題として取り組んでまいりました。具体的には「次世代人材育成を含めた『学びの場の提供』」「一般缶の素晴らしさのPR」「行政等からの様々な情報提供」の三本柱です。「ヤマトグループ最新物流施設見学会」や「価格交渉サポートセミナー」も記憶に新しいことかと存じます。不肖、私の方からも「理事長通信」という形で皆さまへ考え方の発信をさせていただきました。

## 年頭挨拶

### 一般缶の価値向上を最大限発揮できる組合活動めざす

東日本一般缶工業協同組合  
理事長

廣瀨 泰久



皆さん、明けましておめでとうございませう。令和2年の年頭にあたりまして、一言ご挨拶させていただきます。

昨年10月には消費増税もありまして景気の先行きへの不安はありますし、採用難・後継者不在など一般的には沢山の経営課題がある昨今です。しかしながら社会的な課題があるということは、そこにビジネスチャンスもあるということ。それぞれの特長を

その使命を果たすべく、それぞれの会社、一人ひとりの社員の皆さんが、最大限その素晴らしさを発揮していただくよう、一般缶組合としても精一杯の活動をしていきたいと念じております。本年も、どうぞよろしくお願い致します。



## 年頭挨拶

### 業界ネットワークを構築し 他容器に負けない販売力を

中部製罐工業協同組合  
理事長

安藤 宏行



会員の皆様には、令和最初の新年を迎えるに当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は中部製罐工業協同組合の活動に対して多大なご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。本年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は10月から12月にかけて米中貿易戦争の影響により自動車を中心に輸出関係で景気を落としましたが、日銀による超低金利政策や国債発行などの継続による経済の下支えもあり、まずまずの景気となりました。

本年はオリンピック・パラリンピックが日本で開催されます。私の身近では、その恩恵をあまり聞いておりませんが、昨年のラグビーワールドカップ日本開催の影響を考えますと大変楽しみです。

一般缶の製品は、お茶、せんべい、クッキーなど「食品缶」、ペンキ、オイル、医薬品など「化学・薬品缶」、キャラクター、ノベルティなど「生活雑貨缶」、パン、ビスケットなど「防災備蓄缶」とその用途が幅広く、生活・文化に溶け込んでいます。新しい発想、視点をもつ

て新しいパートナーに出会えば、時代に合った製品が生まれると思います。また、業界で協力体制を強化し、ネットワークを構築し仕事を補完し合い他容器に負けない販売力を持つていきたいと思います。

また、昨年は当組合の事務所を日東製罐内に移転いたしました。事務局職員の高齢化に伴う、ダウンサイジングです。当面ご迷惑をおかけするかもしれませんが、活動はこれまでどおり行ってまいりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

私ごとで恐縮ですが、今年還暦を迎えます。新たな気持ちをもって再出発いたします。本年も組合員並びに関係会社の皆様にとって価値ある1年となりますことを祈念して新年のご挨拶に代えさせていただきます。

## 年頭挨拶

### 東京五輪パラリンピックで 日本の技術の高さを 目にもたらしめよう

全日本金属印刷工業協同組合連合会  
会長

中田 正和



昨年元号が変わり、令和初のお正月となりましたが、皆様にはご健勝にて新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

さて、令和の時代をどのように歩んでいく

か又どのような問題が降り注いでくるかを予想するうえで昨年を振り返ってみたいと思います。

まず、世界情勢ではアメリカのトランプ大統領の過度の自国ファーストと中国のアジア太平洋地域への覇権とがぶつかり合い、貿易摩擦が勃発し世界経済に大きな悪影響を及ぼしました。

国内経済では消費税増税による国内消費の冷え込みが起つてきています。この国内外の経済への影響は本年も続くものと思われま

す。又、昨年は国内に甚大な被害をもたらした台風15号、19号が発生いたしました。この大型台風は地球の温暖化の影響が大きいでしょう。温暖化は地球環境の将来に大きな陰を落

としていのは確かです。スウェーデンの16歳の環境活動家グレタ・トゥーンベリさんのように若い人たちが地球環境の未来に大きな不安を抱き始めています。また、日本の若者は車や家を持ちたいという欲よりも地球環境、社会問題、自分を取り巻く人間関係などに大きな価値を置いているようです。

そして昨年あたりからSDGsという言葉を度々耳にするようになりました。これは『地球環境』『健康』『貧困』『食糧不足』等17個の問題への我々企業、個人でできる取り組みのことだそう。我々の業界でもコストアップ、恒常的な人手不足、仕事量の減少といった問題が継続しています。金属印刷業はエネルギー多消費業種でもあります。今の若者の価値観に対応するためにもコストダウンの面からもSDGsは今後の我々の取組課題の一つであり、ヒントにもなり得るのではないかと思います。

2020年はオリンピック・パラリンピックの年です。日本全体が更に盛り上がることでしょう。また、来日した海外の人たちに

日本の技術の高さを目にもたらしめよう機会にもなるでしょう。その好機を我々業界でも逃さず、またオリンピック・パラリンピックの活気も享受していきたいものです。

最後となりましたが、本年が皆様にとりまして良い年をなりますことを祈念いたしまして年頭の挨拶とさせていただきます。

## 年頭挨拶

### 東京五輪パラリンピックが 業界に好機をもたらして くれることを期待

東京都鍼力地金商業協同組合  
理事長

松苗 昭文



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては令和の最初の新年を、お健やかに迎えにいられたこととお慶び申し上げます。

当東京都鍼力地金商業協同組合も発足から六十六年目を迎え、この長きにわたり活動を続けることができましたのも、ひとえに全日本一般缶工業団体連合会様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、相次ぐ台風により各地に甚大な被害を与え、未だに復旧工事が進まず、被災された方々には改めまして心よりお見舞い申し上げます。

また、沖縄の首里城の火事など国内ばかりではなく、フランスのノートルダム大聖堂の火災や、数か月も燃え続けているオーストラリアの大規模な森林火災で5億匹とも言われている野生動物たちの死、大切な自然や貴重な建物・文化財が消失されました。

世界情勢に目をむけますと、米中貿易摩擦や日韓関係の悪化、北朝鮮の動向、香港での抗議活動など不安定な状態が続き、アメリカとイランの関係も緊張が高まっています。

国内では、十月に消費税が10%に改定され景気への影響が懸念されます。

スポーツ界では、三月にイチロー選手の引退があり、一時代が終わった寂しさを感じましたが、タイガーウッズ選手の復活や、渋野日名子選手の全英オープン優勝と共に、我が国で開催されたラグビーワールドカップ大会での日本代表チームの活躍は、昨年の流行語大賞にも選ばれた「ワンチーム」のスローガンのもと、我々日本人に大きな感動を与えてくれました。

また、一昨年の本庶佑氏に続き、吉野彰氏がリチウムイオン電池の開発によりノーベル化学賞を受賞したのも、嬉しいニュースでした。そして、五月に新天皇が即位され、令和の新时代が始まると共に日本中が祝賀ムードに湧きました。

今年はいよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックが開催される記念すべき年です。日本選手団の活躍が大いに期待され、国内が活気と熱気で溢れることでしょう。これらが一つの起爆剤となり、経済対策が円滑に執行でき、我々と一般缶業界にも好機をもたらしてくれることを期待しています。

今年の干支は「子年」で「繁栄の年」と言われていますので、実り多き「商売繁盛」の一年となりますよう祈願いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

## 令和2年新年賀詞交歓会を開催

# 「一般缶の価値をいかに高めようか」

清水会長

全日本一般缶工業団体連合会は令和2年1月17日、東京・港区の浜松町東京會館で令和2年新年賀詞交歓会を開催し、所属員会社、特別会員、特別賛助会員、一般賛助会員、協会員、賛助会員、協賛会員など161人が参集した。

挨拶に立った清水雄一郎会長は「今年には東京2020オリンピック・パラリンピックの開催など大きなイベントも控えているが、中小企業にとつては働き方改革関連法による時間外労働の上限規制の適用やSDGs(持続可能な開発目標)への取組など対応すべき問題は山積みしている。一般缶業界においては鋼材・印刷・運賃等々のコストアップへの対応が急

務となっている。こうした諸問題に適切に対処しながら、一般缶の価値をこれまで以上に世間に広めていき、皆様に恩返しができるよう努めていきたい」と挨拶した。

来賓を代表し、経済産業省製造産業局金属課の蓮井智哉課長は「これまで日本の製造業はバブル崩壊、リーマンショック、自然災害等数多くの困難に直面してきたが、品質力・技術力を生かした部材や素材が日本のものづくりを支えてきた。とりわけ美しい外観や密封性などの特性を兼ね備えた一般缶は、昨年TVのバラエティ番組で取り上げられたことを契機に再度注目を集めており、SNSにも素敵なデザイン



来賓挨拶をする  
蓮井課長



主催者挨拶をする  
清水会長



中締め挨拶をする  
廣演副会長



乾杯の音頭をとる  
藏本任用鋼板室長

一方、足もとでは他容器との競争や海外経済の減速、ユーザーニーズの多様化等さまざまな挑戦が待ち受けているが、こうした課題に必ずや対応され引き続き発展されると信じている」と挨拶した。

次いでJFE スチール株式会社任用鋼板営業部任用鋼板室の藏本学室長が「今年にはオリンピックイヤーで消費は盛り上がると思うが缶にも動いて欲しい。ブリキマイケットは2017年には70万トンを超え、一般缶は20万トンから足もとでは18万トンぐらい。素材メーカーとしては今後変わらないうちをお客さまに選んでもらえるよう、製品開発や機能性向上に専念し製造実力を備えていきたい」と挨拶し乾杯の音頭を取った。歓談のあと廣演泰久副会長(東日本一般缶工業協同組合理事長)の中締めで散会した。



新年賀詞交歓会の会場風景

## 組合互礼懇親会を開催

西日本一般缶工業協同組合は令和2年1月7日、大阪市梅田のホテルグランヴィア大阪で新春の組合互礼懇親会を開催し、組合員会社など14人が出席した。

清水雄一郎理事長は冒頭「皆様も年明けを穏やかに迎えられ、本年も良い年になると予感している。昨年はラグビーワールドカップの活気に引き続き、今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されることで更に活気づくと思っている。一般缶業界も鋼材値上げ等で厳しさはあるが、事業を行っ



新春懇親会の会場風景

ていく上で自ら率先して物事を進めていくことが肝心です。そのような中で、情報交換を行い幅広く発信し、販売を広げていくよう努力する必要があると思う。各社が発展することを願うと共に、組合活動においては、相互関係を持ち、皆様にご協力頂きながら頑張っていきたい」と挨拶した。

次いで馬場康之副理事長の音頭で乾杯し、懇親に移った。最後に小西康晴副理事長が閉会の挨拶を行い盛会裡に散会した。

## 東日本一般缶工業協同組合

## 羽田クロノゲート見学会レポート

人材育成委員会 委員長 最上裕光

東日本一般缶工業協同組合の人材育成委員会は令和元年10月9日、東京都大田区にあるヤマトグループの総合物流ターミナル「羽田クロノゲート」の見学会を総勢18人の参加を得て開催しました。

羽田クロノゲートは「羽田」という立地を活かした陸・海・空の「スピード輸送ネットワーク」と高度な「付加価値機能」を一体化した日本最大級の物流ターミナルです。私たちに仕事と切っても切れない物流関係の勉強会ということに参加者の皆さんにとって貴重な学びの場になったと思います。

今回は、組合員同士の交流を深めるため、往復のチャーターバスを利用し、見学会終了後は「陳家私業」秋葉原店で懇親会を行いました。当委員会では今後も組合員にとって有益な活動を行ってまいります。

## 参加者報告

## 省人化の未来を見た！

エヌエス金属工業(株) 山田裕人

東日本一般缶工業協同組合人材育成委員会の企画による「羽田クロノゲート見学会」に参加させて頂きました。

自分の知識は、日々通販配送でお世話になっている点と、「宅急便」という言葉の商標権を持っていることでスタジオジブリ作品のスマートフォンになったという話ぐらいしかありませんでしたが、運送最大手の動向や考え方に触れ、知見を深めさせて頂きました。入口から宅急便の歴史に関する展示を経



羽田クロノゲート正面玄関前で記念写真

て、24時間稼働を念頭におかれた搬送エリアで誰もが気付きました。作業員が居ないことを。人の手では到底追いつかないであろうスピードで上下左右に行き来する荷物。我々の目に映る光景はそれだけででした。

省人化の一つの到達点でしょうか。この状態が24時間継続しているとの説明を受け、製造ラインもここまでできたらどれだけ、効率を追求できるだろうか、と見学した誰もが思っていたのではないのでしょうか。

今や省人化は外せない状況の中、最先端の現場に触れる機会を頂き、ありがとうございました。

## 西日本一般缶工業協同組合 合同部会開催

西日本一般缶工業協同組合は令和元年11月21日、大阪・天王寺区石ヶ辻町のホテルアウイーナ大阪で営業担当者8人が集まり合同部会を以下の内容で開催した。

### ① 鋼材動向等に関する 情報交換及び近況報告

○鋼材値上げでの対応は、資料作成してのアナウンスを行っているところが多いが、決着はまだ先になると思われる。

○鋼材値上げに関し、印刷、運賃及び加工賃等についてトータル的に価格転嫁を行う方向で考えていく場合も多々ある。

### ② その他—情報交換

★「ブリキ等の値上げ及び価格転嫁に関するアンケート」について（各社宛案内）

○連合会のアンケートを西日本組合から各社宛に送付し回答を得る作業を行った。その結果をまとめて、資料として関係方面等に説明していく段取りを取る。



合同部会に参加の皆さん

★一般缶材質表示マークの問題点について

○先の全国流通委員会・部会協議会での討議事項を踏まえての内容検討と意見をまとめ、特に問題がなければ正案として改正する。

★自然災害への対応について

○災害（地震、大雨、台風他）に対しての備えと事前対策ができる部分については、逐次対応していく。

○従業員等へ災害時の安否等、周知徹底を図る必要がある。

★消費税増税について

○若干の駆け込み需要はあった模様。特に目立った動きは無い。

★その他  
○工場関係でのパート、派遣等の人員確保については、各社各々対応に苦慮している。

## 西日本一般缶工業協同組合 4S会会議を開催

4S会会議は令和元年10月2日、尼崎市のホテルヴィスキオ尼崎で開催された。関西地区の西部十八リットル缶工業組合、大阪金属印刷工業協同組合（幹事）、西日本一般缶工業協同組合と西日本クラウンズ会から20人が出席した。

第1議題では各組合の業界状況や関連諸問題について話し合われた。西日本組合の清水雄一郎理事長より一般缶の売上実績、直近の業況、缶のPR活動、西日本組合員の状況について話し合われた。

第2議題では4S会関係者の情報交換、製缶業界の将来見通し、設備投資の方向性についての意見交換が行われた。

\*製缶業界の設備も高価で、20～30年稼働させるのが普通だが、全体的に老朽化が進んでおり、各社個別で検討されている。

\*数量減の中で品質要求の高度化等対

応すべき課題は同様の状況。  
\*人手不足の中、人数をかけない生産設備の構築も方向性としてはある。

\*生産ライン全体というより、金型、プレス、製缶等部分的な更新を実施している。

\*働き方改革についての意見交換では、労働条件等に関して求職者と求人側との意識差があり、求職者が何を求めているか経営者自身が知る必要がある。

\*一般消費者のスチール缶⇄鉄への認知度が低く、5割以上の消費者はアルミと混同している。

\*一般缶業界では小ロット化の現状等が紹介された。



4S会議風景

# 「エコプロ2019」に出展

## スチール缶は 鉄、地球にやさしい資源！ 一般缶の良さをアピール

全日本一般缶工業団体連合会は令和元年12月5日から7日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開かれた「エコプロ2019～持続可能な社会の実現に向けて～」にスチール缶リサイクル協会、全国十八リットル缶工業組合連合会と共同出展した。

今回のブース看板には「スチール缶は鉄、地球にやさしい資源！」のキャッチコピーを掲げ、その壁面にある『鉄』の文字を溶鉱炉の炎をイメージした色合いで表現した。

当ブース内では、会員各社から提供された一般缶を展示したほか、一般缶の8つの特長や金

リサイクルクイズに挑戦しながらスチール缶のエコを学ぶ子供たち



属印刷の流れを説明したパネルを掲示。また、連合会のDVD「人の技と夢が詰まった一般缶」の中の「一般缶と3R（スリーアール）」とスチール缶リサイクル協会のDVD「無限リサイクルの秘密」を合体させたビデオをエンドレスで上映した。3日間で6300人の来場者が「スチール缶リサイクルクイズ」を楽しみながらスチール缶のエコロジーを学んだ。

### 令和元年6月～11月までの一般缶生産出荷実績(単位:t)

	年月	生産	出荷		在庫
			販売	その他	
経済産業省データ	1. 6	4,571 (4,777)	4,813 (5,257)	59 (26)	7,602 (6,805)
	7	5,061 (4,627)	5,379 (4,716)	6 (35)	7,263 (6,662)
	8	4,083 (4,450)	3,995 (4,122)	9 (58)	7,326 (6,932)
	9	4,754 (4,621)	4,588 (4,447)	23 (81)	7,479 (7,029)
	10	5,529 (5,750)	5,260 (5,269)	58 (56)	7,684 (7,451)
	11	5,614 (5,863)	5,532 (5,585)	39 (68)	7,726 (7,647)
連合会データ	1. 6	3,363 (3,487)	3,270 (3,404)		6,828 (6,069)
	7	3,557 (3,512)	3,448 (3,408)		6,876 (6,112)
	8	3,163 (3,228)	3,086 (3,157)		6,784 (6,198)
	9	3,594 (3,353)	3,399 (3,199)		6,961 (6,361)
	10	4,024 (4,018)	3,845 (3,986)		7,071 (6,355)
	11	4,042 (4,219)	4,131 (4,202)		6,991 (6,351)

( )内は前年同月実績  
経済産業省データは生産動態統計鉄鋼月報より転載

### 東日本一般缶工業協同組合



熱心に講師の説明を聞く参加の皆さん

東日本一般缶工業協同組合は流通・交流委員会の企画により、令和元年11月6日、東京・千代田区の第7東ビルで中小企業庁の支援を受けて「価格交渉サポートセミナー」を開催した。参加者は18人。

コスト上昇に伴う適正な価格転嫁が大きな経営課題に上がる中、講師を務めた中小企業診断士の加藤敦子氏が「受注者である中小企業の皆様に価格交渉のノウハウを学んで頂き、自社の利益拡大につながる価格交渉を実現して欲しい」と伝え、「①価格交渉は自社製品及び日本ブランドの維持・向上のために欠かせない取組である。②価格交渉の第一歩として、どのような取引行為が発注者の法令違反に該当するのか理解する必要がある。③発注者は客観性のあるデータや合理的な根拠に基づく交渉を望んでいる。④個別具体的な相談に対応する体制は十分に整っている」ことを説明した。このあと加藤講師は価格交渉を行う上で知っておくべき関連法律知識、具体的な事例紹介、必要な価格交渉ノウハウなどについてパワーポイントを使い解説した。

中小企業庁支援「価格交渉サポートセミナー」を開催

謹賀新年

(順不同)

西日本一般缶工業協同組合

理事長 清水雄一郎

大阪府大阪市北区天神橋  
二四一七 千代田第一ビル  
電話 〇六(六三三三)一九七三  
FAX 〇六(六三三三)一九六七

江戸川製罐株式会社

代表取締役 加島 裕

東京都江戸川区平井五十四六一九  
電話 〇三(三六一二)四一三一  
FAX 〇三(三六一七)五〇三四

生野金属株式会社

代表取締役 小西康晴

大阪府高石市高砂三二二四  
電話 〇七(二二六八)〇七七七  
FAX 〇七(二二六八)〇七八二

新高垣製缶株式会社

代表取締役 高垣悦夫

奈良県天理市永原町五番地  
電話 〇七(四三六七)三三三一  
FAX 〇七(四三六七)三二四一

日本製鉄株式会社

代表取締役社長 橋本英二

東京都千代田区丸の内二一六一  
電話 〇三(六八六七)四一一一

中部製罐工業協同組合

理事長 安藤宏行

愛知県岡崎市宮地町字郷東三九  
電話 〇五六四(五一)五六六一  
FAX 〇五六四(五一)一五六三

工又工金属工業株式会社

代表取締役社長 中田則彦

茨城県つくば市緑ヶ原四一六  
電話 〇二九(八四七)七二二〇  
FAX 〇二九(八四七)六七七九

株式会社ゼンユー

代表取締役社長 砂川秀樹

大阪府大阪市淀川区加島  
四一〇一四四  
電話 〇六(六三〇九)四〇三二  
FAX 〇六(六三〇二)二一〇〇

光工業株式会社

代表取締役社長 吉田龍一

広島県東広島市志和町冠  
一六五二  
電話 〇八(四三三)五四〇一  
FAX 〇八(四三三)五四五三

JFEスチール株式会社

代表取締役社長 北野嘉久

東京都千代田区内幸町二二二三  
電話 〇三(三五九七)三一一一

全日本金属印刷工業協同組合連合会

会長 中田正和

東京都墨田区業平一四一六  
本所ビル二階  
電話 〇三(三六二六)二四一一  
FAX 〇三(三六二六)二五〇二

株式会社神宮製作所

代表取締役 神宮芳次郎

千葉県野田市上三ヶ尾二六一  
電話 〇四(七二五)二二六一  
FAX 〇四(七二五)三六三七

エーエス精器株式会社

代表取締役 有山信夫

大阪府東大阪市西石切町  
六一六一一四  
電話 〇七(二九八)二〇八一  
FAX 〇七(二九八)二〇六七

日西製罐株式会社

代表取締役 矢谷満里子

大阪府大東市御領三一五一〇  
電話 〇七(二八七四)〇九七一  
FAX 〇七(二八七五)四二五二

東洋鋼板株式会社

代表取締役社長 田辺敏幸

東京都品川区東五反田二一八一  
大崎フォレストビルディング  
電話 〇三(四五三二)六八六〇  
FAX 〇三(三三二八)八一六〇

東京都鋳力地金商業協同組合

理事長 松苗昭文

東京都中央区日本橋大伝馬町一七  
電話 〇三(三六六三)八三五七  
FAX 〇三(三六六三)八三五八

杉浦製罐株式会社

代表取締役 杉浦由記夫

茨城県守谷市百合ヶ丘  
二一四八〇七  
電話 〇二九(七四八)二五五一  
FAX 〇二九(七四八)二五五二

江戸川製罐工業株式会社

代表取締役 渡邊静雄

大阪府大阪市鶴見区今津北  
一一七一三八  
電話 〇六(六九六八)六七六一  
FAX 〇六(六九六二)三二五八

三国金属工業株式会社

代表取締役社長 村野光広

大阪府豊中市豊南町西四一七二〇  
電話 〇六(六三三三)〇二五一  
FAX 〇六(六三三四)〇二五五

全日本一般缶工業団体連合会

会長 清水雄一郎

副会長 廣瀨 泰久  
副会長 安藤 宏行  
東京都台東区浅草橋五一四一五  
ハシモトビル五〇二  
電話 〇三(五八〇九)三三三六

株式会社ヒロハマ

代表取締役社長 廣瀨庄一郎

東京都墨田区石原二二八一一  
電話 〇三(三六二五)二六八〇  
FAX 〇三(三六二五)二六八八

水戸部製缶株式会社

代表取締役社長 水戸部伸寿

東京都千代田区神田和泉町  
一一三一一  
電話 〇三(三八六六)二一六六  
FAX 〇三(三八六六)二三八八

奥村製罐株式会社

代表取締役 奥村清司

京都府綴喜郡井手町大字多賀  
小字西松ヶ花一  
電話 〇七(七七四)八二〇七八  
FAX 〇七(七七四)八二四三二四

明和金属工業株式会社

代表取締役 渋谷剛志

大阪府高石市取石七一一一六  
電話 〇七(二二七四)一一〇〇一  
FAX 〇七(二二七四)六三三五

東日本一般缶工業協同組合

理事長 廣瀨泰久

東京都台東区浅草橋五一四一五  
ハシモトビル五〇二  
電話 〇三(五八〇九)三三三六  
FAX 〇三(三六六四)〇九一一

金方堂松本工業株式会社

代表取締役社長 竹内雅夫

東京都台東区東上野一一八一一二  
電話 〇三(三八三二)一一九一  
FAX 〇三(三八三二)七一四四

大阪製罐株式会社

代表取締役社長 清水雄一郎

大阪府東大阪市岩田町二二一一二八  
電話 〇六(六七二二)五五四五  
FAX 〇六(六七二二)三三四七〇

下宮金属工業株式会社

代表取締役 下宮正裕

大阪府堺市堺区南島町三丁一一三一  
電話 〇七(二二三)八一二〇  
FAX 〇七(二二三)八一四〇

山雄製缶工業株式会社

代表取締役 山本浩之

大阪府大阪市北区大淀中  
五一一一一四  
電話 〇六(六四五二)五一四一  
FAX 〇六(六四五二)〇八二二



謹賀新年

(順不同)

中村商事株式会社

代表取締役社長 中村 定  
東京都千代田区神田和泉町一丁目七  
電話 〇三(五六八七)五九一一  
FAX 〇三(五六八七)六一五五

東都金属印刷株式会社

代表取締役 菅谷 誠一  
千葉県船橋市小野田町二五二一三  
電話 〇四七(四五七)五四六一  
FAX 〇四七(四五七)七二三八

株式会社N・P・W技研

代表取締役社長 山本将之  
三重県伊勢市佐八町八九四  
電話 〇五九六(三九九)一一三三三  
FAX 〇五九六(三九九)一一三三六

株式会社 神 光

代表取締役 小河 薫  
大阪府吹田市南正雀一丁目二八一一  
電話 〇六(六三八)四四六六  
FAX 〇六(六三八)六〇一一

有限会社山野初製缶所

代表取締役 木下 光美  
大阪府八尾市太田七一一〇  
電話 〇七二(九四八)〇五五八  
FAX 〇七二(九四八)二八五五

明邦鋼業株式会社

代表取締役社長 窪島 孝行  
埼玉県越谷市新川町一丁目四四  
電話 〇四八(九八七)〇七〇一  
FAX 〇四八(九八七)〇七三〇

富安金属印刷株式会社

代表取締役社長 菊井 治  
埼玉県草加市苗塚町五七七  
電話 〇四八(九二五)一五八一  
FAX 〇四八(九二八)二六二〇

松本金属工業株式会社

代表取締役 松本 勝俊  
大阪府大阪市北区天満二丁目二一八  
電話 〇六(六三三)〇九四一  
FAX 〇六(六三三)七六四〇

日東金属工業株式会社

代表取締役 大久保 八城  
大阪府八尾市太田七一一〇  
電話 〇七二(九四九)六七一一  
FAX 〇七二(九四九)六七五九

株式会社  
ライトハウス金属工場

代表取締役 岩橋 徹  
大阪府大阪市鶴見区今津中  
電話 〇六(六九六)〇四四一  
FAX 〇六(六九六)二二九八

スチールリーフ株式会社

代表取締役社長 茂木 孝之  
東京都葛飾区亀有五丁目八一一五  
電話 〇三(三六二)八〇三〇  
FAX 〇三(三六二)八〇六〇

二橋プリント株式会社

代表取締役 二橋 英之  
埼玉県三郷市彦川戸一丁目三八一六  
電話 〇四八(九五三)二二六六  
FAX 〇四八(九五三)五四二二

株式会社井上博商店

代表取締役社長 井上 歩美  
大阪府大阪市住吉区万代東  
電話 〇六(六六九)一一二二五  
FAX 〇六(六六九)一一二二七

西部容器株式会社

代表取締役 川島 大吾  
大阪府摂津市別府二丁目三一八  
電話 〇六(六三四)一六五一  
FAX 〇六(六三四)七二二八

日東製罐販売株式会社

代表取締役社長 安藤 宏行  
愛知県岡崎市宮地町字郷東三九  
電話 〇五六四(五二)五六一  
FAX 〇五六四(五二)五六三

エイコー株式会社

代表取締役社長 菊井 治  
埼玉県草加市苗塚町五七七  
電話 〇四八(九二二)八三七三  
FAX 〇四八(九二二)八三七五

株式会社  
城北磁力印刷工業所

代表取締役 竹腰 忠臣  
千葉県野田市木間ヶ瀬二五〇一一  
電話 〇四七(一九八)二六一一  
FAX 〇四七(一九八)二七七九

JFE商事プリキセンター  
株式会社

代表取締役社長 清末 浩史  
大阪府大東市新田旭町六一一  
電話 〇七二(八七〇)九七三二  
FAX 〇七二(八七〇)九七三〇

興和磁力印刷株式会社

代表取締役社長 池田 利恵子  
愛知県津島市神守町字中ノ折  
電話 〇五六七(二八)五一六六  
FAX 〇五六七(二四)四三三七

高野興業株式会社

代表取締役 高野 康弘  
東京都墨田区本所一丁目一三  
電話 〇三(三三三)一一六六  
FAX 〇三(三三三)六二六四

株式会社 M O B Y

代表取締役社長 宮内 太  
千葉県市川市塩浜一丁目一四  
電話 〇四七(三〇六)〇二一〇  
FAX 〇四七(三〇六)〇二一九

株式会社江連金属印刷所

代表取締役 江連 一  
千葉県松戸市上本郷八一  
電話 〇四七(三三六)〇一三五  
FAX 〇四七(三三六)八七一五

是松鋼商株式会社

代表取締役社長 是松 一郎  
大阪府東大阪市楠根二丁目一三  
電話 〇六(六七四)二三六一  
FAX 〇六(六七四)〇四〇〇

株式会社  
愛罐コーポレーション

代表取締役 桑田 敬士  
東京都渋谷区本町二丁目三九一四  
電話 〇三(五三〇)五五一五  
FAX 〇三(五三〇)五五一六

富 安 株式会社

代表取締役 田川 正之  
東京都墨田区太平四丁目一五  
電話 〇三(五六一)七七七〇  
FAX 〇三(五六一)七七六〇

大成ブリキ印刷株式会社

代表取締役社長 中田 正和  
茨城県稲敷郡河内町長竿  
電話 〇二九七(八六二)二〇一  
FAX 〇二九七(八六二)四二〇

新里機工株式会社

代表取締役 金澤 幸一  
埼玉県川口市東領家四丁目一  
電話 〇四八(二九九)九〇九七  
FAX 〇四八(二九九)九〇九八

三幸商事株式会社

代表取締役 武田 有広  
大阪府大阪市西区北堀江  
電話 〇六(六五四)九三三一  
FAX 〇六(六五四)三五八八

大貫金属工業株式会社

代表取締役 大貫 雄一  
東京都葛飾区東新小岩  
電話 〇三(三六九)六一七九  
FAX 〇三(三六九)六一七九



**株式会社 セゾン保険サービス**  
 代表取締役社長 富岡勝巳  
 東京都豊島区東池袋四一―二―一  
 アウルタワー四階  
 電話 〇三(三三九八八)一五二六  
 FAX 〇三(三三九八五)八二二七



**西日本一般缶工業協同組合**  
**缶友会ゴルフ会懇親会**

令和元年10月29日奈良県の奈良国際ゴルフ倶楽部で第153回のゴルフ会を開催した。  
 成績は次の通り。

優勝	佐々木浩司氏 (富安金属印刷)	47	49	21.6	74
二位	馬場康之氏 (センユ)	44	45	13.2	75
三位	岩橋 徹氏 (ライトハウス金属工場)	53	48	25.2	75

**東日本一般缶工業協同組合**  
**CPSM会**

令和元年11月13日千葉カントリークラブで第66回CPSM会を開催した。参加者は23人。  
 上位入賞者は次の通り。

優勝	小林達生氏 (明祐工業)	52	51	103	34	69
二位	江連義氏 (江連金属印刷所)	40	49	89	16	73
三位	水戸部伸寿氏 (水戸部製缶)	43	41	84	10	74
シニア枠	廣濱泰久氏 (ヒロム)	45	45	90	12	78

次回は令和2年4月15日に行う予定。

**令和元年8月から  
令和2年1月までの行事**

**東日本一般缶工業協同組合**

- 令和元年 8/1 明治大学森下ゼミ「夏季納会」
- 8/21 東京中央会
- 8/26 団体向け生産性向上普及啓発セミナー
- 9/2 第1回人材育成委員会
- 9/2 第3回理事会(役員会)
- 9/6 事務局長協会
- 9/6 7 都外研修会
- 9/10 全国中央会
- 9/13 「組合士スキルアップ研修会」
- 9/13 関東甲信越静岡ブロック組合士協議会「全体研修会」
- 9/17 東京中央会
- 9/17 「中小企業トップセミナー」
- 9/18 「情報連絡員報告会」
- 9/19 第1回流通・交流委員会
- 9/19 組合士協会
- 9/19 「新事業研究部研修会」
- 9/19 人材育成委員会
- 9/19 「羽田クワゲート見学会」
- 10/10 東京中央会
- 10/10 「平成31年度表彰式」
- 10/11 CPSM会会議
- 10/16 CPSM会常任理事会
- 10/30 第2回人材育成委員会
- 11/6 流通・交流委員会
- 11/13 「価格交渉サポートセミナー」
- 11/13 第66回CPSM会
- 11/13 事務局長協会「職員交歓会」

- 11/14 東京浅草税務署
- 11/15 「年末調整等説明会」
- 11/15 東京都火災共済協同組合
- 11/21 「代理所研修会」
- 11/21 東京都鉄二健保組合「理事会」
- 11/29 第4回理事会(役員会)
- 11/29 忘年会
- 12/3 組合士協会「役員会」
- 12/3 東京中央会
- 12/13 「組合管理者等講習会」
- 12/18 セゾン保険サービス
- 12/18 「労務セミナー」
- 12/18 東京中央会
- 12/18 「組合まつり in TOKYO」
- 12/25 明治大学森下ゼミ「冬季納会」

**西日本一般缶工業協同組合**

- 1/29 第40回優良従業員表彰式
- 1/17 「代理所全体会議」
- 1/15 三役年始挨拶回り
- 1/15 東京都火災共済協同組合
- 1/17 「代理所全体会議」
- 1/29 役員会
- 2/2 4S会
- 2/2 缶友会ゴルフ
- 2/29 合同部会
- 2/21 役員会
- 2/6 役員会
- 1/7 組合新春懇親会
- 1/8 大阪金属印刷工業協同組合
- 1/23 「新年互礼会」
- 1/23 合同部会・技術交流会会議
- 1/23 及び懇親会

- 11/26 「出展ブースWG会議」
- 11/27 鉄鋼製品団体協会「見学会」
- 11/27 食品接触材料管理制度推進に向けた説明会
- 11/27 エコプロ2019出展ブースWG
- 11/27 「配布物セッティング」
- 12/5 7 エコプロ2019出展
- 令和2年 1/10 三役年始挨拶回り
- 1/15 全国十八リットル缶工業組合
- 1/17 第2回理事会(役員会)
- 1/17 第2回全日本一般缶PR活動推進協議会
- 1/17 新年賀詞交歓会
- 1/22 経済産業省
- 1/30 「金属課新旧課長交代親睦会」
- 1/30 スチール缶連絡協議会

**東日本一般缶工業協同組合**

- 2/5 東京都鉄二健保組合「理事会」
- 2/10 東京中央会大村功作会長叙勲受章祝賀会
- 2/18 事務局長協会「新年交流会」
- 2/25 東京都鉄二健保組合「組合会」
- 2/6 人材育成委員会
- 3/6 「おもてなしセミナー」
- 3/11 組合士協会「常任理事会」
- 3/13 第5回理事会(役員会)
- 3/27 事務局長協会第64回定期総会
- 3/27 監事会
- 4/10 第67回CPSM会
- 4/21 組合士協会「役員会」
- 4/23 第1回理事会(役員会)
- 5/14 第42回通常総会
- 5/29 東京中央会「第68回通常総会」

- 2/4 鉄鋼製品団体協会
- 3/13 「研修会・新年会」
- 3/13 第3回理事会(役員会)
- 3/13 第3回全日本一般缶PR活動推進協議会
- 5/ 連合会監査
- 6/12 第42回定時総会
- 6/12 第1回全日本一般缶PR活動推進協議会
- 6/12 第44回全国流通委員会・部会協議会
- 7/3 一般缶イノベーションフォーラム2020

**組合伝言板**

- 《代表者交代》  
 (西日本組合員) 明和金属工業(株) 代表取締役 渋谷剛志氏 令和元年10月  
 光工業(株) 代表取締役社長 吉田龍氏 令和元年10月  
 (東日本組合員) 代表取締役社長 山本将之氏 令和元年9月
- 《東日本協賛会員》  
 大貫金属工業(株) 代表取締役 大貫雄氏 令和元年10月
- 《脱退会員》  
 (東日本賛助会員) 日本メタルプリント(株) 令和元年10月
- 《住所変更》  
 (東日本協賛会員) (株)愛罐コーポレーション 〒150-0071 東京都渋谷区本町2-39-14 電話(03)5304-5515 FAX(03)5304-5516 令和2年2月4日